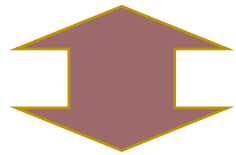


地域共同型災害ボランティアセンター 運営者・マネージャーの養成について

全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター

地域協働型災害ボランティアセンターの必要性

- 災害の頻発
被害の激甚化・広域化
- 新型コロナウイルス等の
感染症の流行
- 南海トラフ地震・首都直下地
震などの巨大災害発生への懸念



被災地外からの支援は
困難

被災した自治体の社協と
地域の関係者が主体となった
協働型災害ボランティアセンター
の設置が不可欠

協働型のススメ

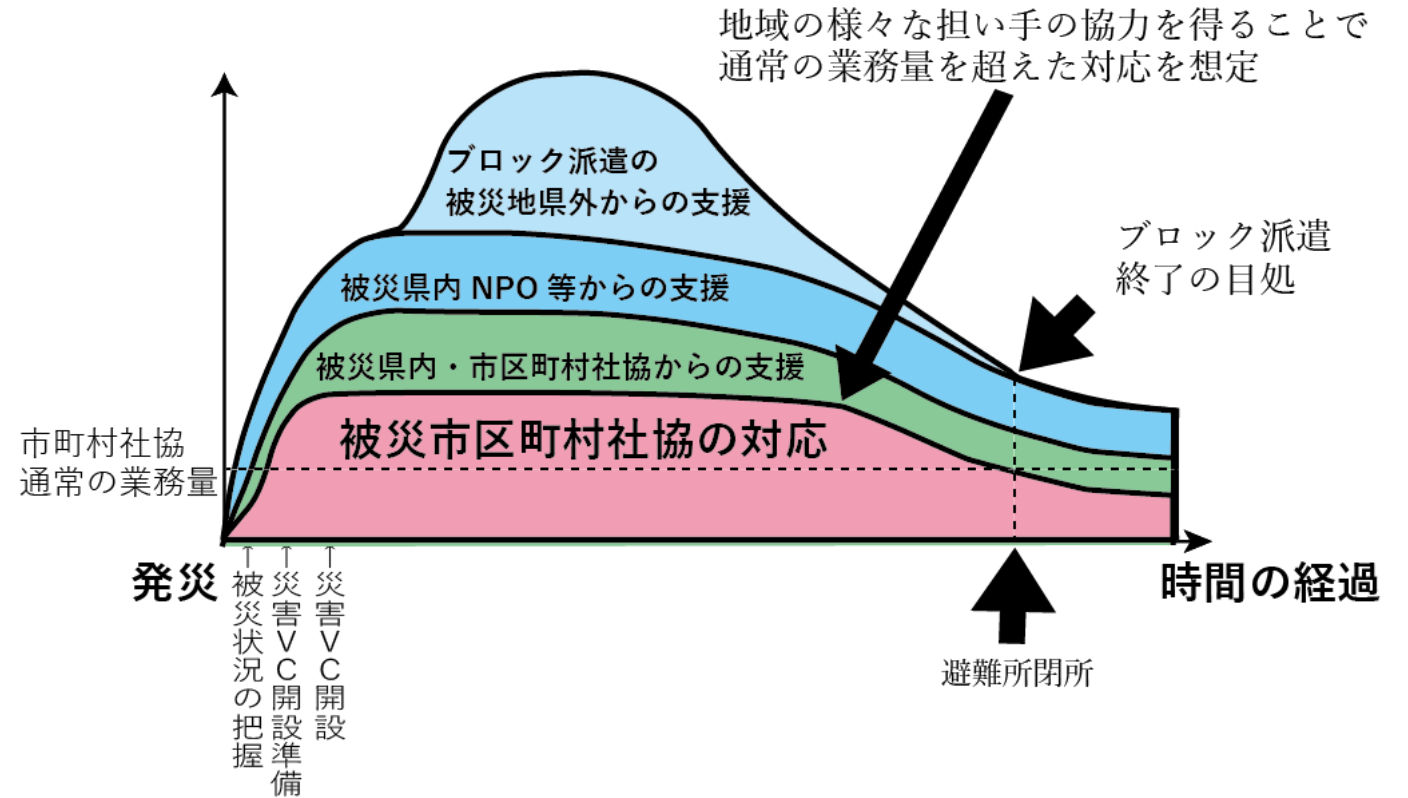
・社協が中心となり、地域の様々な担い手の参加と協力により、災害ボランティアセンターを運営することが望ましい



災害ボランティアセンターの運営支援の見直し

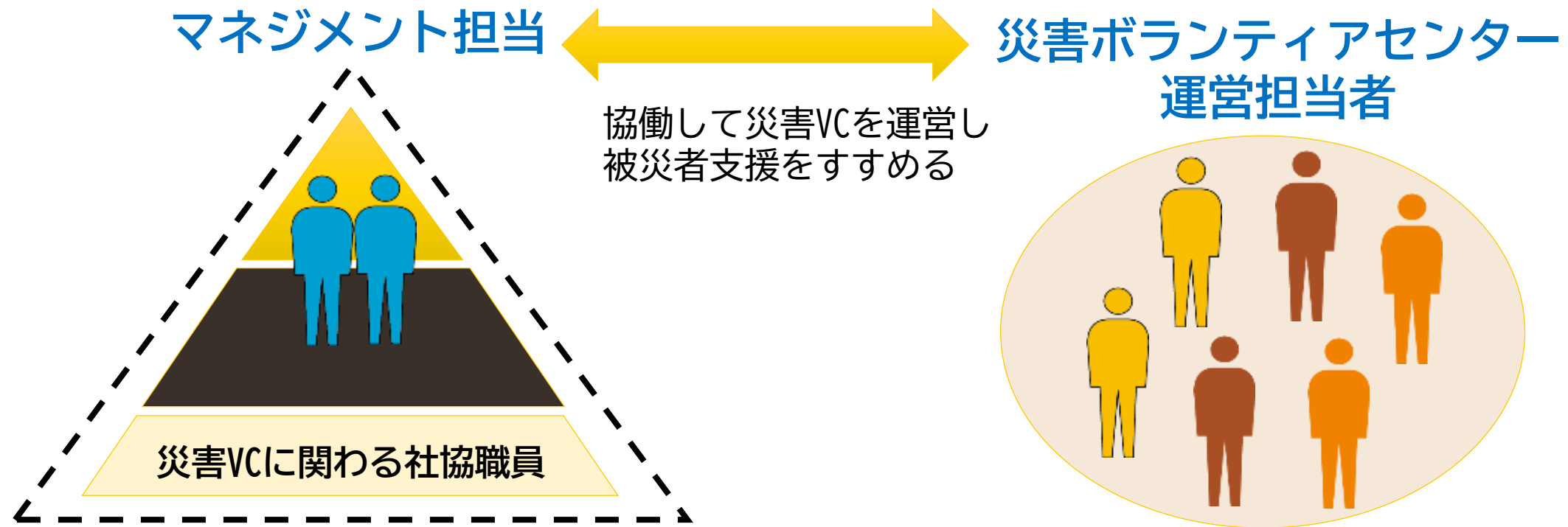
社協職員による支援
＜ブロック支援等を見直し＞

「社協における災害ボランティアセンター活動支援の基本的考え方」の改定（令和3年）



地域住民・組織、企業等による災害VC＜地域協働型災害VC＞への移行

地域協働型災害VCを運営する人材のイメージ



◆マネージャー（社協、災害支援NPO職員等）

災害VCの運営のマネジメント
（活動の見通し付け、戦略・計画策定、多様な機関・団体
との支援調整、資機材・財源確保、労務管理、……）

◆運営者（地域住民等の多様な人材

災害VCの運営の実務を担う
（受付、リインターン、資器材管理、情報整理、…）

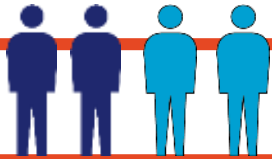
災害VC運営者の養成と相互支援のイメージ

平時

X県社協

災害VC運営者・マネジャー
(研修受講者)の共有

A市社協



B市社協



C町社協



D村社協



各市区町村で災害VC運営者・
マネージャーを育成・相互交流



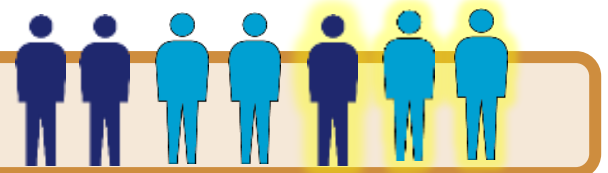
災害時

X県社協

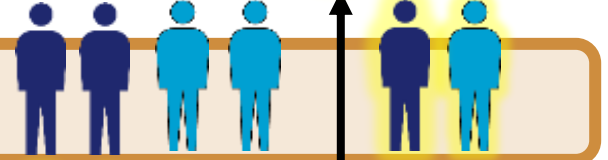
災害VC運営者・マネジャーの
派遣調整

A市・B町が被災

A市社協



B市社協



C町社協

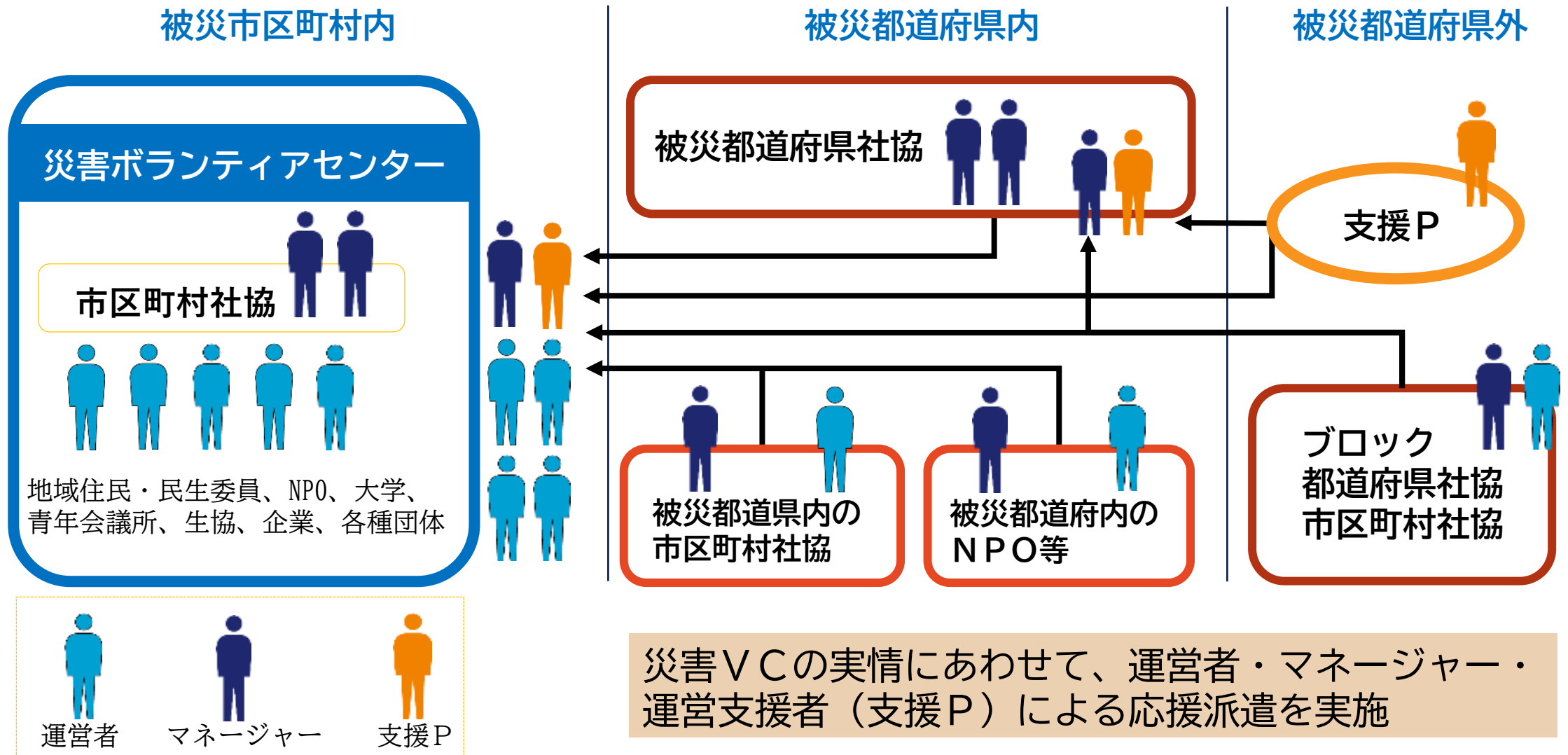


D村社協



状況にあわせて人材を派遣

社協職員等による応援派遣による広域支援のイメージ



災害 V C 運営者の養成

運営者の役割

- 平時に養成研修を行い活動について理解を深める
- 平時に運営者（協力者）の災害時の役割を決めておく
- それぞれの協力者ができることで運営に協力してもらう
- 例えば、以下のような役割が考えられる。
 - ✓ 駐車場や施設内の案内・誘導、整理券の配付
 - ✓ 電話の受付・問い合わせ対応、情報整理
 - ✓ ボランティアに飲料や衛生用品等を渡す
 - ✓ 道具の貸し出し、受け取り、片付け
 - ✓ 活動先への行き方の説明・案内
 - ✓ 被災状況、復旧状況、活動報告などの情報等の整理
 - ✓ 災害VC内でのボランティアへのインフォメーション、サポート
 - ✓ サテライトや活動現場への物資・資機材の移送
 - ✓ 活動現場の見回り（飲料、資材配付、健康管理など）



災害VC運営者研修・概要

- 目的:

- 市区町村を単位として養成する

- (当面は、都道府県社協と市区町村社協が連携して実施)

- 養成の対象:

- 地域住民等(地域住民、民生委員、NPO、青年会議所、生協、企業、大学等)、社協職員も含む

- プログラム構成

- 9時間(1回は半日:3時間)×3回のプログラム

- *無理なく参加できる日帰り参加できる日程で実施

災害VC運営者研修・プログラム概要

回	内 容
第1回	<ul style="list-style-type: none">・ 講義 1 : 講義 : 災害に関する基礎知識と心得・ 講義 2 : 講義 : 災害VCに関する基礎知識と心得・ 演習 : 被災者の置かれている状況の理解
第2回	<ul style="list-style-type: none">・ 講義 : 災害VCのしくみ、基礎知識・ 演習 : 災害VCのレイアウト検討
第3回	<ul style="list-style-type: none">・ 災害ボランティアセンター運営訓練

※基本的に1回あたり3時間30分（午後）のプログラム構成とする。
講義は、1講義あたり30分から45分程度、演習は80分程度

災害VC運営者研修のねらい

- ネットワークづくり
 - 地域の多様な担い手の参加・協力が得られる、地域内のネットワークをつくる
- 平時からの関係構築
 - 平時から地域福祉や防災に対して協力が得られやすい関係性を構築する
- 地域の人材の災害時の役割を位置づけ
 - 平時に関係づくりをしてきた人に災害時も支援者として協力者になってもらう
- 近隣で相互に支援しあえる人材(運営者)の養成
 - 災害発生時に、近隣で応援しあえる体制をつくる
(災害支援に関する共通の考え方、知識、技術をベースにした相互支援体制)

災害V Cマネジャーの養成

マネージャーの役割

• 基本的な役割

- 必要な支援活動内容の見立て
(フェーズに応じた適切な支援活動の調整)
- 災害VCの活動期間の見立て、戦略立案
- 組織内のマネジメント(人員調整・労務調整など)
- 運営者の配置、チームビルディング、サポート体制など調整
- 行政との調整
- NPO等関係機関との連携調整、情報共有
- 地域住民との調整(ニーズ把握、Vの受入れ、被害のアセスメント)
- 地域外からの支援者との調整
- 資金管理(調達、運用、管理)
- 広報(情報発信、マスコミ対応)

これらの役割すべてを限られた人材のみで、継続的に対応するのは不可能
<これまでは、災害スペシャリストに対する期待や負荷がかかり過ぎていたことが育成の弊害になっていた可能性もある>

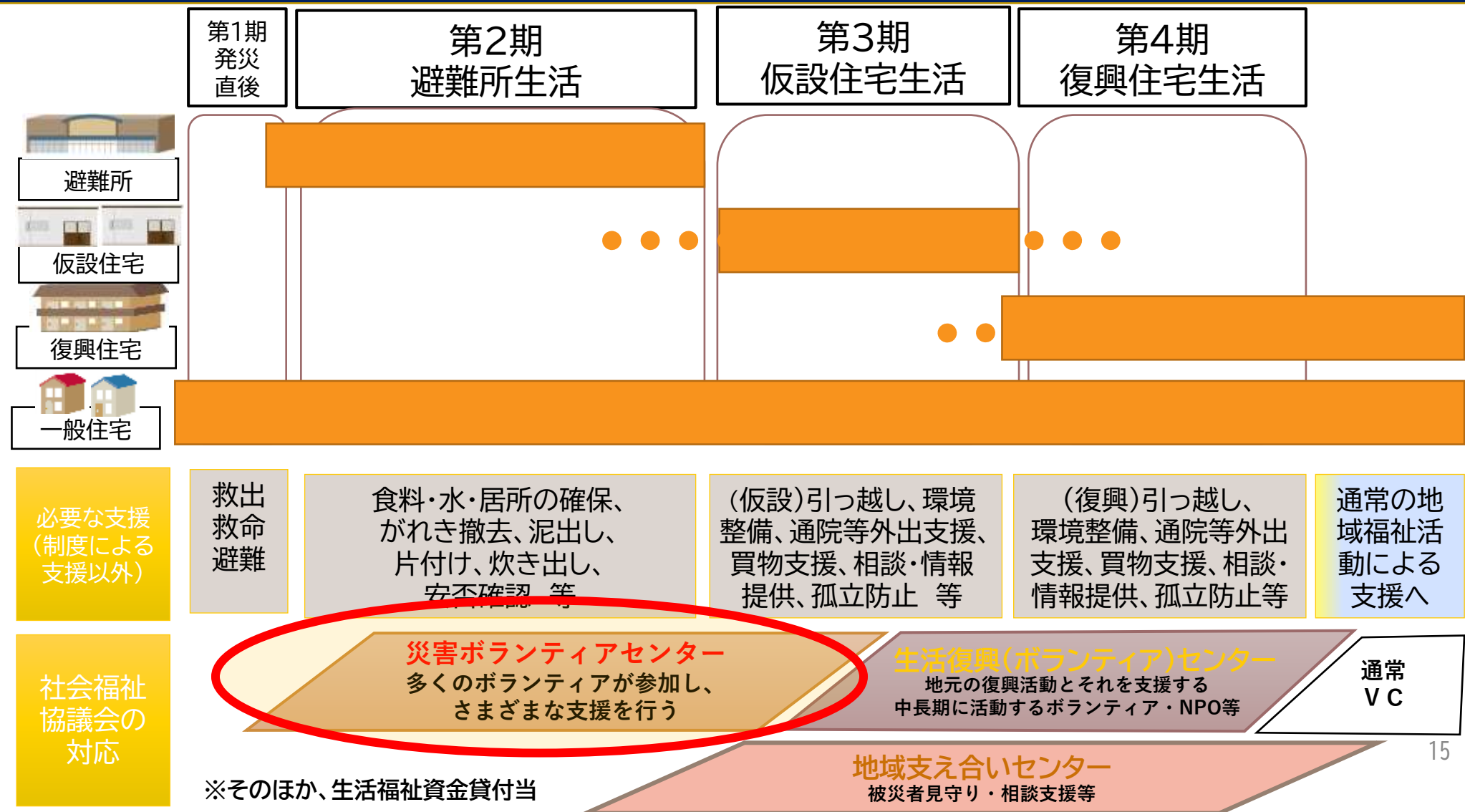
社協が行う
ソーシャルワークの一環として
災害時にも関わる

被災者支援にかかる様々な支援活動・分野

分野	災害VC	社協事業・NPO・NGO等の活動
被災家屋	(ニーズ把握) 土砂出し、家財出し、片づけ・清掃	重機での土砂等、床・壁・屋根の応急措置 廃棄物の分別・回収、住宅再建の相談・講習会
避難所		アセスメント、物資、環境整備、炊出し、 サロン傾聴、ジェンダー的配慮、ペット、運営
在宅避難者		実態把握調査 物資、家電、食事
仮設住宅		引越し、物資・家電、集会場、 公民館への備品、サロン、見守り支援
生業支援		農地からの土砂・廃棄物等撤去 商店街の片づけ・清掃、資機材
要配慮者		福祉施設への支援、相談支援・資金支援 こどもの居場所・学習支援、学用品など、 翻訳・通訳

※NPO・NGO等の支援は、行政のそれぞれの分野の担当部署との連携・調整は不可欠。
地域防災計画、受援計画の想定は、こうした分野の連携を想定した計画になっているか？

被災者の生活のフェーズと災害ボランティアセンター



災害ボランティアセンターマネージャー

- 災害ボランティアセンターの設置・運営に関わる経験や知識
- 平時から培ってきた地域福祉の経験やネットワーク

この2つを生かし、多様な組織や団体、地域外の手も借りながら



- ◆ 災害ボランティアセンターの運営をマネジメント
- ◆ 社協の地域福祉活動、NPOの活動、行政の支援策との連携・協働をふまえ、災害VCの活動、被災者支援活動をデザイン

- ✓ 災害発生時には、社協内部・行政・都道府県社協と協議し、災害VCの設置を判断
- ✓ 運営の調整役として、被災状況の把握、災害VCの体制づくり、スタッフの調整、チームビルディングなどをマネジメント
- ✓ 被災者支援のフェーズをふまえ、支援活動の見通し付け、被災者支援の適切な方法の検討（災害VCの閉所、地域支え合いセンター、通常ボランティアセンターへの移行の検討・調整等

マネージャーの体制(チーム)例



- 各市区町村社協で、災害VCの運営に欠かせないマネージャーの役割すべての役割を担えるのが望ましいが、継続的な運営のためには、近隣社協やNPO等で補完することが期待される
- 状況に応じて、支援Pや都道府県社協からのサポートが期待される。さらに、同一都道府県内で複数の災害VCが設置され、県内の人材だけでは対応できない場合は、同一ブロック（近隣都道府県）からの派遣や他のブロックからの派遣で補完することが考えられる

災害VCマネジメント研修・プログラム概要

(検討中の内容)

第1回テーマ:被災状況にあわせた対応

回	内 容
第1回	<p>【事前課題】 オンデマンド映像を利用した事前学習</p> <ul style="list-style-type: none">・ 講義1：災害VCの設置判断・ 講義2：運営マネジメント・コーディネーション・ 講義3：フェーズごとの変化・ 演習：フェーズに応じた適切な対応・ 振り返り

災害VCマネジメント研修・プログラム概要

(検討中の内容)

第2回テーマ：連携・協働

回	内 容
第2回	<ul style="list-style-type: none">・ 講義：連携・協働の基本的な考え方・ 講義：地域住民との関わり・連携・ 講義：行政との連携・ 講義：NPO等との連携・ 演習：被災者の困りごとへの適切な対応

災害VCマネジメント研修・プログラム概要

(検討中の内容)

第3回テーマ：組織内マネジメント

回	内 容
第3回	<ul style="list-style-type: none">・ 講義：活動資源（もの・資金）・ 講義：活動資源（ひと）・ 講義：リスクマネジメント・ 講義：NPO等との連携・ 演習：運営トラブルへの対応・ 振り返り

災害VCマネジメント研修の展開

- 目的：

- 市区町村災害ボランティアセンターの運営のマネジメントをする者として、センターの円滑な運営を図ることを可能とする知識や技術等を習得

- 実施主体

- 都道府県社協を想定

- 受講対象：

- 市区町村社協職員、都道府県社協の災害担当者等

- プログラム構成

- 3日間のプログラムを基本とする（10:00-16:30／1日あたり5時間30分程度）

- 内容の一部をオンデマンド配信とし、事前学習する

※基本的に1回あたり3時間30分（午後）のプログラム構成とする。
講義は、1講義あたり30分から45分程度、演習は80分程度

関連する研修

実施主体	対象	内容
内閣府	各都道府県職員 中間支援組織等	<ul style="list-style-type: none">災害時の多様な主体連携の促進のために、都道府県庁内で調整できる人材各地の体制強化のために、都道府県社協や中間支援組織に参加することも想定
J V O A D	各都道府県中間 支援組織等	<ul style="list-style-type: none">災害時の全体調整・情報共有（情報共有会議の実施主体等）などを行う人材支援分野ごとのコーディネートを実施
支援P	①災害VC運営者 ②中核的運営支援者（名称検討中）	<ul style="list-style-type: none">①災害ボランティアセンターの運営支援②都道府県域で災害ボランティア活動支援